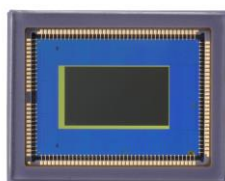


**ネットワークカメラ・産業用カメラ向け高感度 CMOS センサーを開発
0.08lux の低照度環境下でカラーのフル HD 動画を撮像可能**

キヤノンは、1/1.8 型で 0.08lux（ルクス）*の低照度環境下でもカラーのフル HD 動画を撮像可能な高感度 CMOS センサー “LI7050”を開発しました。本日サンプル出荷を開始し、2020 年 10 月下旬に発売予定です。



LI7050

近年、IoT の進展に伴い、ネットワークカメラや産業用カメラの需要が高まっています。特にフル HD や、夜間でもカラーで撮影できるカメラのニーズが拡大しています。キヤノンが新たに開発した高感度 CMOS センサー “LI7050” は、1/1.8 型（対角 9.03mm）、画素サイズが一辺 4.1μm（マイクロメートル）と小型でありながら、低照度環境下でもカラーのフル HD 動画を撮像可能です。

■ 0.08lux の低照度環境下でもカラーのフル HD 動画を撮像可能

小型ながら高感度を実現できるように画素構造を設計するとともに、低ノイズを達成し、0.08lux の低照度環境下でも、カラーのフル HD 動画を撮像可能です。一般的に、夜間監視においては赤外線カメラを用いて、モノクロで撮影しますが、本センサーを搭載したネットワークカメラにより、例えば公共施設や道路・交通機関などにおいて、夜間でも人物の服装や車両の色情報を確認することに役立つことが期待されます。また、小型かつ高感度なイメージセンサーが求められる、水中ドローンに搭載するカメラや、顕微鏡用カメラのほか、警備用のウェアラブルカメラなどへの活用が可能です。

■ 120dB の広いダイナミックレンジを実現

120dB の広いダイナミックレンジを実現する HDR 駆動機能を搭載しており、例えば 0.08lux から 80,000lux までの環境で白とび、黒つぶれなしで撮像できます。これにより、ビルの出入り口など明暗差の大きい状況においても高画質で撮像することが可能です。通常駆動時でも 75dB を実現し、例えば 0.08lux から 500lux までの環境で白とび、黒つぶれなしで撮像できます。

■ 幅広い用途に対応するさまざまな仕様

さまざまな用途のコンシューマー向けカメラや産業用カメラにも使用されている MIPI CSI-2 インターフェースに対応することにより、幅広い機器に組み込むことが可能です。また、任意の領域を選択し、読み出す情報量を削減することで、フレームレートを上げることができる ROI (Region of Interest) 機能や、カメラを天井などに逆さに設置した場合でも、センサー内で見やすい向きの画像にして出力する水平・垂直反転機能を搭載し、産業用途で求められる多様なニーズに対応します。

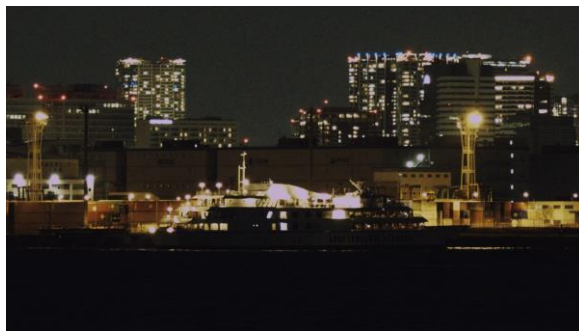
* 満月の夜の明るさの目安が 0.3lux、三日月の月明かりの明るさの目安が 0.01lux。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社 03-3740-1874 (直通)
産業機器事業部 第二営業本部 企画部
IoT ビジョン営業課

● CMOS センサーホームページ : canon.jp/cmos

< “LI7050” による撮像の例 >

高感度と低ノイズを両立することで、低照度環境下でもカラーのフル HD 動画を撮像することができます。さらに、HDR 駆動時は 120dB の広いダイナミックレンジを実現し、明暗差の大きい状況でも、明るい部分から暗い部分まで高画質で撮像することが可能です。

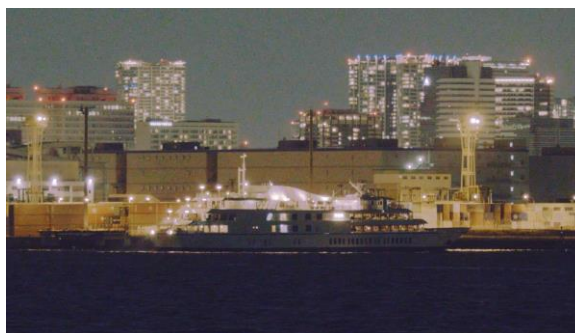


肉眼で見た場合（イメージ）



【通常駆動時】

高感度と低ノイズを両立したカラーのフル HD 動画を撮像可能



【HDR 駆動時】

明るい部分から暗い部分までさらに高画質で撮像することが可能

<CMOS センサーの市場動向>

IoT の進展に伴い、ネットワークカメラや産業用カメラの需要が高まるとともに、それらに搭載するイメージセンサーの需要が拡大しています。セキュリティ用途において、センサーサイズは1/4 型～1/2 型が大半を占めており、解像度はフル HD 以上で撮像できるものが増えています。
(キヤノン調べ)

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。